

**X M L コ ン ソ ー シ ア ム**

**第 9 回 総 会**

**議 案 書**

2009 年 6 月 5 日 (金)

於 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

## 目 次

第 1 号議案 2008 年度活動報告の件	
・ 活動実績 .....	1-1
第 2 号議案 2008 年度収支報告の件	
・ 収支計算書.....	2-1
・ 貸借対照表・財産目録.....	2-2
・ 監査報告書.....	2-3
第 3 号議案 2009 年度活動計画承認の件	
・ XMLコンソーシアムの活動方針.....	3-1
・ 2009 年度の活動方針.....	3-2
・ 2009 年度年間主要活動計画.....	3-7
第 4 号議案 2009 年度予算計画承認の件	
・ 予算計画 .....	4-1
第 5 号議案 2009 年度 理事 / 監事選任の件	
・ XML コンソーシアム役員構成.....	5-1

## 第 1 号議案

2008 年度活動報告の件

XMLコンソーシアム

## 1. 活動実績

1. 会員数 : 2008年5月23日(総会時) 法人会員:165 会員(特別会員 1 法人含む)  
2009年3月31日 法人会員:144 会員(特別会員 1 会員を含む)、学生会員:1 会員

### 2. 活動実績

#### 1) 総会

・第8回総会開催

開催日 2008年5月23日  
開催会場 日立ソフトウェアエンジニアリング 日立ソフトタワーA 4F 講堂  
参加者数 74社 96名

#### 2) 理事会 : 開催 2回、ML 審議 21回

2008年5月23日	2009年1月22日	
2008年5月度(ML 審議)	2008年5月度(2)(ML 審議)	2008年5月度(3)(ML 審議)
2008年6月度(ML 審議)	2008年6月度(2)(ML 審議)	2008年7月度(ML 審議)
2008年8月度(ML 審議)	2008年8月度(2)(ML 審議)	2008年9月度(ML 審議)
2008年9月度(2)(ML 審議)	2008年9月度(3)(ML 審議)	2008年10月度(ML 審議)
2008年10月度(2)(ML 審議)	2008年11月度(ML 審議)	2008年11月度(2)(ML 審議)
2008年11月度(3)(ML 審議)	2008年11月度(4)(ML 審議)	2008年12月度(ML 審議)
2009年02月度(1)(ML 審議)	2009年03月度(1)(ML 審議)	2009年03月度(2)(ML 審議)

2009年04月23日 2009年05年度(1)(ML 審議)

#### 3) 運営委員会 : 開催 11回、ML 審議 11回

2008年4月10日	2008年5月8日	2008年6月12日
2008年7月10日	2008年9月11日	2008年10月9日
2008年11月13日	2008年12月11日	2009年1月23日
2009年2月12日	2009年3月12日	
2008年5月度(ML 審議)	2008年8月度(ML 審議)	2008年8月度(2)(ML 審議)
2008年8月度(3)(ML 審議)	2008年9月度(ML 審議)	2008年9月度(ML 審議)
2008年10月度(ML 審議)	2008年11月度(ML 審議)	2008年11月度(2)(ML 審議)
2008年12月度(ML 審議)	2009年1月度(ML 審議)	

2009年4月09日 2009年5月21日

#### 4) セミナー開催 : 5回

・XML マスター直前対策セミナー(3回)

ベーシック	2008年7月29日
プロフェッショナル(アプリケーション開発)	2008年10月31日
プロフェッショナル(データベース)	2008年2月22日
・エンタープライズマッシュアップ、次世代クライアント製品徹底検証(Part1)	2008年11月28日
・エンタープライズマッシュアップ、次世代クライアント製品徹底検証(Part2)	2008年12月18日

・延べ参加者数

総数	87社、2大学	151名
会員	61社	123名
非会員	26社、2大学	28名

#### 5) 部会活動成果発表 : 2回

・第7回 XML コンソーシアム Week(部会成果発表会)	2008年6月2日 - 6日、6月24日	計6日
・第9回 XML コンソーシアム Day(部会中間成果発表会)	2009年1月9日	計1日

・第8回XMLコンソーシアムWeek(部会成果発表会) 2009年5月12日 - 13日、5月19日 - 20日 計4日

・延べ参加者数

総数	379社	519名
会員	253社	441名
非会員	125社	149名
プレス	1社	1名

6) 部会活動

・部会リーダー・ミーティング 月次	
・部会開催 月次	
・部会登録者数(2009年3月31日現在)	登録者数
SOA 部会	101名
ビジネス・イノベーション研究部会	71名
Web サービス実証部会	63名
セキュリティ部会	49名
Web2.0 部会	93名
クロスメディア・パブリッシング部会	31名
関西部会	32名
XMLDB 部会	100名
-----	
合計	540名

7) 勉強会開催: 7回

XML 設計技術勉強会 2008年6月26日、7月28日、8月26日、9月30日、10月20日、11月20日、12月17日

8) 勉強会登録者数

XML 設計技術勉強会 54名(登録者数)

9) プロジェクト活動

- ・「気象庁防災情報 XML 化」第2次協力プロジェクト
  - 活動期間 2008年7月~2009年5月
  - 参加者数 11名
- ・「気象庁防災情報 XML 化」第1回 XML スキーマ検証プロジェクト
  - 活動期間 2008年11月10日~2008年12月3日
  - 参加者数 7名
- ・「気象庁防災情報 XML 化」第2回 XML スキーマ検証プロジェクト
  - 活動期間 2009年3月26日~2009年4月17日
  - 参加者数 7名

10) 成果物公開

- ・「XML 利用実態俯瞰図」 2008年7月8日
- ・「MOF2008 合同デモシステム向けセキュリティ報告書」 セキュリティ部会 2008年9月9日
- ・「XMLDB に関する質問回答集」 XMLDB 部会 2008年9月24日

11) 外部団体との協業関係(順不同)

- ・アライアンス・パートナー
  - XBRLJapan
  - 次世代電子商取引推進協議会
  - 製造業 XML 推進協議会
  - 社団法人 日本旅行業協会
  - 特定非営利活動法人 UML モデリング推進協議会
  - ものづくり APS 推進機能 / PSLX フォーラム
  - XML 技術者育成推進委員会
  - 社団法人 日本印刷技術協会
  - Linux コンソーシアム

- 
- ・気象庁
  - ・総務省
  - ・経済産業省
  - ・Web サービス実証実験
    - 財団法人 日本道路交通情報センター
  - ・ユビキタス組込み
    - YRP ユビキタスネットワークワーキング研究所
  - ・マーケティング活動支援
    - W3C
    - 慶応義塾大学 SFC 研究所
    - WS-I JSIG
    - OMG
    - DOPG

・情報交流・交換  
情報処理学会デジタルドキュメント研究会  
ビジネスモデル学会

-----  
・メディア・パートナー  
IDG  
翔泳社  
@IT  
ITmedia エンタープライズ

12) 外部主催イベントに対する協賛、後援：9回

- ・「渋谷テクニカルナイト」後援 2008年4月25日、5月9日、5月23日、5月30日  
日本アイ・ピー・エム株式会社渋谷マークシティ・ウエスト  
主催：日本アイ・ピー・エム株式会社
- ・「Interop Tokyo 2008」後援 2008年6月9日-13日 幕張メッセ  
主催：Interop Tokyo 2008 実行委員会
- ・「ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2008」協賛 2008年9月1日-3日(水) 東洋大学  
主催：情報処理学会ソフトウェア工学研究会
- ・「Modeling Forum 2008」後援 2008年9月17日(水)-18日(木) 東京コンファレンスセンター・品川  
主催：次世代電子商取引推進協議会(ＥＣＯＭ)
- ・「CMS Conference 2008」後援 2008年11月26日 国際ファッションセンター(KFC)  
主催：日本ウェブ協会
- ・「ソフトウェアジャパン 2009」協賛 2009年1月27日 大手町サンケイプラザ  
主催：情報処理学会
- ・「Developers Summit 2009」オフィシャルコミュニティ 2009年2月12日-13日 目黒雅叙園  
主催：翔泳社
- ・「制御システムセキュリティワークショップ」協賛 2009年2月18日 目黒雅叙園  
主催：JPCERT コーディネーションセンター
- ・「制御システムセキュリティカンファレンス 2009」協賛 2009年2月19日 目黒雅叙園  
主催：JPCERT コーディネーションセンター

13) 外部セミナー等での講演：5回 4名、2部会

- ・「MfgX フォーラム 2008」2008年6月23日  
「XMLコンソーシアム最新情報」  
XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)
- ・「PAGE2009 ジョイントイベント」2009年2月4日-2月6日  
Web2.0部会  
クロスメディアパブリッシング部会
- ・「制御システムセキュリティワークショップ」2009年2月18日  
「生産情報の統合・連携に伴うセキュリティの傾向と対策」  
セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)
- ・浅間テクノポリス地域センター 2009年3月4日  
「情報セキュリティの動向と生産システムへの教訓」  
セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)
- ・DITA コンソーシアムジャパン設立記念セミナー 2009年3月11日  
「DITA コンソーシアムジャパンの設立を祝して」  
XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)

14) 取材対応、原稿執筆

- ・取材対応  
株式会社 富士キメラ総研  
XMLコンソーシアム副会長 田原春美氏(日本アイ・ピー・エム)  
Web サービス実証部会リーダー 松山憲和氏(PFUソフトウェア株式会社)
- ・原稿執筆  
「計装」(工業技術社)  
セキュリティ部会リーダー 松永豊氏(東京エレクトロン デバイス)

15) プレス・リリース 4回

- ・気象庁とXML コンソーシアム 「気象庁防災情報 XML フォーマット」についてのご意見を募集 2008年5月22日
- ・XML コンソーシアム、XML 設計技術への取り組みを強化 2008年6月20日
- ・XML コンソーシアム、「XML 利用実態俯瞰図」を発表 2008年7月8日
- ・気象庁とXML コンソーシアム「気象庁防災情報 XML フォーマット」についてのご意見を募集(第2回目) 2009年1月30日

・気象庁と XML コンソーシアム「気象庁防災情報 XML フォーマット」(Ver.1.0)の仕様を策定 2009年5月15日

16) メルマガ発行: 12回

2008年4月10日	2008年5月13日	2008年6月10日	2008年7月10日
2008年8月8日	2008年9月10日	2008年10月10日	2008年11月10日
2008年12月10日	2008年1月8日	2009年2月10日	2009年3月10日

2009年4月13日

2009年5月11日

17) Web サイト更新

・コンテンツ更新(日時/随時)

- セミナー等開催案内
- 部会開催案内
- 協賛・後援イベント案内掲載
- メルマガ掲載

・SNS移行関連

- 従来のML運用に代えてASPのSNSサービスを立ち上げ、部会活動や会の運用及び各会員の支援を強化。
- 自前のWebサーバーをASPサービスに移行し、トータルな運用コストを削減。
- ネット上に各部会活動の公開ブログを開設。
- エバンジェリストブログを開始。

18) アンケート実施、公開

・「活動アンケート」、「XML & Web サービス普及度アンケート」、「SOA、Web2.0、XML データベース関心度 / 普及度アンケート」

実施 2008年12月02日

公開 2009年6月01日

以上

## 第2号議案

2008年度収支報告の件

XML コンソーシアム

## 収支計算書

2008年4月1日 から 2009年3月31日 まで

(単位:円)

	予算	実績	差額	備考
<b>1. 収入の部</b>				
前年度繰越	4,357,942	4,357,942	0	
年会費	15,500,000	13,055,000	2,445,000	会費収入
セミナー参加費	50,000	28,000	22,000	セミナー、懇親会参加費収入
雑収入	0	15,517	15,517	受取利息
<b>収入の部合計</b>	<b>19,907,942</b>	<b>17,456,459</b>	<b>2,451,483</b>	
<b>2. 支出の部</b>				
総会開催費	800,000	522,076	277,924	資料コピー代、懇親会費用、表彰状制作費用等
セミナー開催費	600,000	17,329	582,671	懇親会費用、看板制作費用、講師交通費等
成果発表会開催費	1,000,000	336,719	663,281	資料コピー代等
Web サイトリニューアル費	1,600,000	1,050,000	550,000	
サーバー運用費	2,150,000	2,218,125	68,125	サーバーホスティング費用
部会・推進委員会支援金	500,000	0	500,000	
メルマガ制作費	840,000	840,000	0	メルマガ制作費用
活動報告書制作費用	200,000	165,375	34,625	活動報告書 CD 制作費用
業務委託費	10,080,000	10,080,000	0	事務局業務委託費用
通信費・車両運送費	540,000	411,898	128,102	TEL/FAX/データ通信費用、郵便、宅急便等の費用
旅費交通費	120,000	61,420	58,580	事務局交通費
事務消耗品費	480,000	373,879	106,121	コピー使用料、事務用品費等
雑費	410,000	113,732	296,268	アンケート集計費用、理事懇親会費用、振込手数料等
予備費	587,942	0	587,942	
次期繰越金	0	1,265,906	1,265,906	次期繰越
<b>支出の部合計</b>	<b>19,907,942</b>	<b>17,456,459</b>	<b>2,451,483</b>	

## 貸借対照表

2009年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>【資産の部】</b>			
現金預金	1,365,906		
流動資産合計		1,365,906	
資産合計			1,365,906
<b>【負債の部】</b>			
前受金	100,000		
流動負債合計		100,000	
負債合計			100,000
<b>【正味財産の部】</b>			
正味財産			1,265,906
(うち当期正味財産減少額)			(3,092,036)
負債及び正味財産合計			1,356,906

## 財産目録

2009年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>【資産の部】</b>			
現金預金	1,365,906		
普通預金	1,356,906		
三菱東京 UFJ 銀行	1,365,906		
流動資産合計		1,365,906	
資産合計			1,365,906
<b>【負債の部】</b>			
流動負債			
前受金	100,000		
流動負債合計		100,000	
負債合計			100,000
正味財産			1,265,906

# 監査報告書

2009年 4月16日

XMLコンソーシアム  
会長 鶴保 征城 殿

監 事

株式会社ジャストシステム

早瀬 

ピー・シー・エー株式会社

水谷 

私ども監事は、XMLコンソーシアム会員規約第31条に基き、2008年度(2008年4月1日から2009年3月31日まで)における会計及び業務について監査を行い、次のように報告します。

## 記

### 1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査の為、帳簿並びに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

### 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令及び規約に従って、XMLコンソーシアムの財産及び収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

## 第3号議案

### 2009年度活動計画承認の件

#### I. XMLコンソーシアムの活動方針

#### II. 2009年度の活動方針

- ・ XMLの現状について
- ・ XMLコンソーシアム活動の現状と展望について
- ・ 2009年度の基本方針について
- ・ 2009年度重点施策
  - 活動目標および活動内容
  - 成果物の公開について
- ・ その他の施策
  - 外部組織・団体との協業
  - 広報・告知の充実
- ・ 2009年度の体制

#### III. 2009年度年間主要活動計画

補足情報: 「XMLガイドブック(仮称)」企画案

参照資料: XMLコンソーシアム 第9回総会議案書 付属資料

「2009年度部会活動計画」

セキュリティ部会

Webサービス実証部会

SOA部会

ビジネス・イノベーション研究部会

次世代Web活用部会 (旧Web2.0部会)

クロスメディア・パブリッシング部会

関西部会

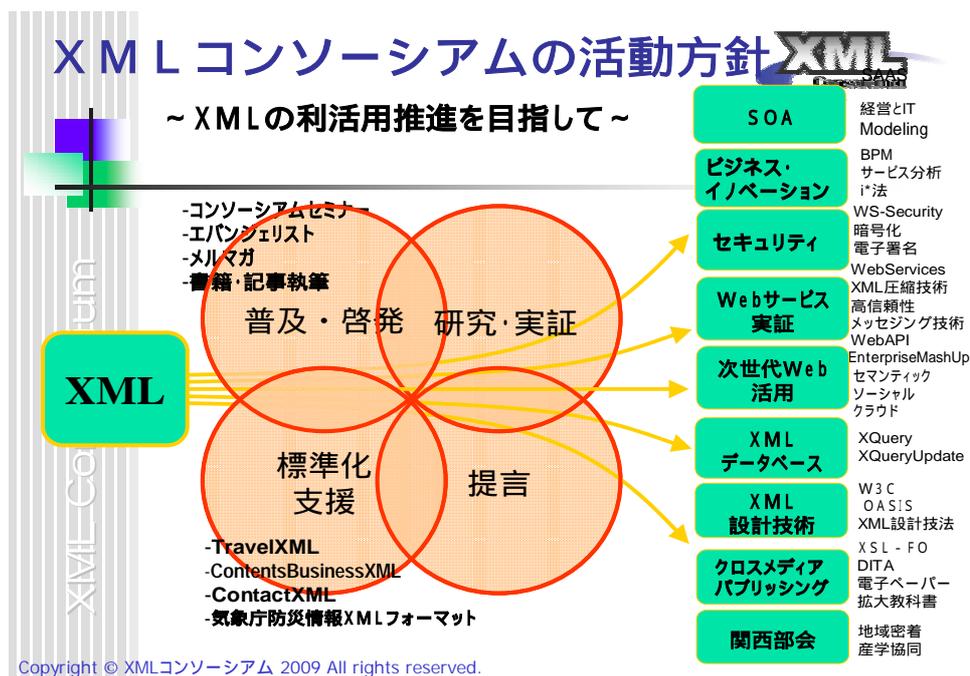
XMLデータベース部会

XML設計技術部会 (新設)

## XMLコンソーシアム

## XMLコンソーシアムの活動方針

本会は設立以来、一貫して下記の特質・特徴を尊重し、4つの活動の柱に沿った活動を展開し今日に至る。2009年度についても、基本的にはこれを踏襲する。



## XMLコンソーシアムの特質・特徴

1. 中立性
2. 一社ではできない活動、競合関係を超えた活動
3. 人的ネットワークの構築
4. 外部組織・団体との協業
5. 成果物の公開

## 活動の柱

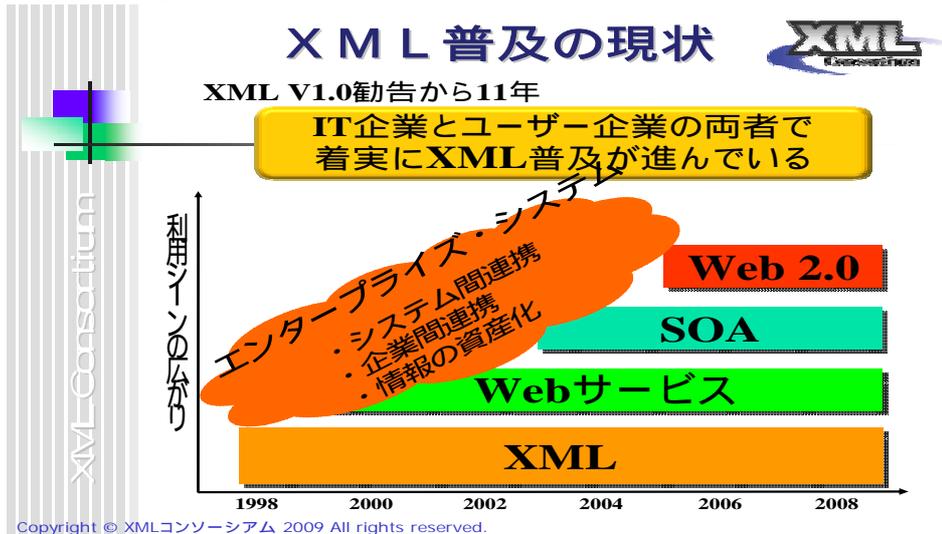
1. 普及・啓発
2. 研究・実証
3. 標準化支援
4. 提言

## II. 2009年度の活動方針

2001年6月に本格的な活動を開始した本会活動は、今年度で9年目を迎えることとなった。

この間のXML普及の推移やXMLの現状ならびにコンソーシアム活動の状況を踏まえ、今後あるべき活動内容や形態について知見を持ち寄り、考察、展望し、活動の基本方針を立案した。

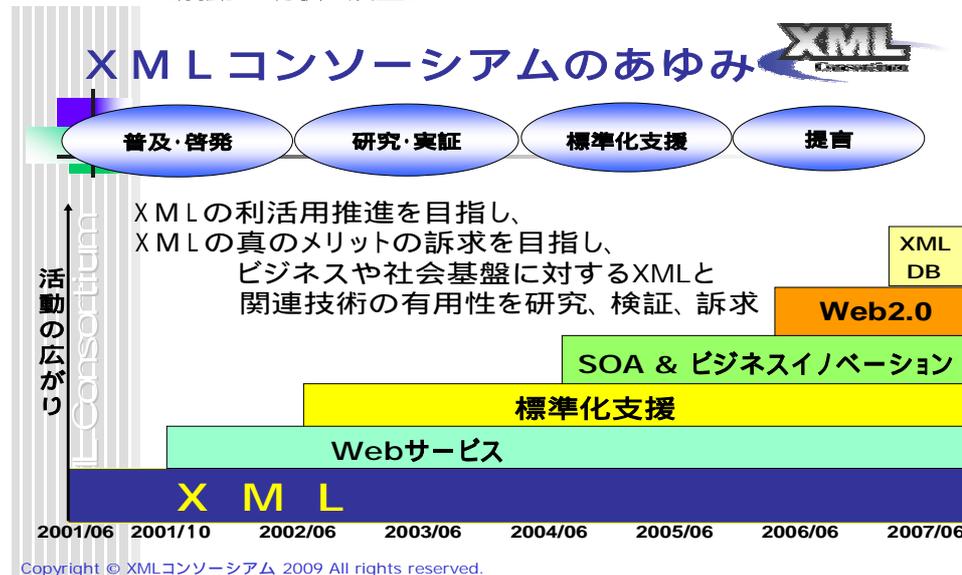
## XMLの現状について



XMLあるいはXMLを実装した技術は、確実な浸透を続け、今やシステム間連携の送受信データ、コンテンツ記述にXMLを用いることは半ば常識となっている。今、注目度の高いクラウドやエンタープライズ・マッシュアップにしてもXMLによるデータ交換を基盤にしており、XMLの普及がなければ、その出現は遠い未来となっていたであろう。しかしながら、一度作成したXMLを異なる目的で再利用したり、段階的にノードを追加してデータの価値を高めたり、蓄積されたXMLの利活用が一般の情報システムで進んでいるとは言えない。XMLデータの二次利用、三次利用でXMLの真のメリットを実感するには、まだ時間がかかると予想される。

加えて、XMLの動向、開発手法、事例などを参照できる資料が乏しく、利活用の実態が判りにくい実情もあり、IT経営におけるXMLの重要性を広く国内の企業に説くための課題になっている。

## XMLコンソーシアム活動の現状と展望について



設立以来、本会は一貫してXMLの普及啓発活動にまい進してきた。これまでの歩みを振り返る時、いかにXMLを基盤技術とする応用分野が拡大してきたか実感せずにはいられない。活動の対象は、XML技術の勉強から始まったが、すぐにWebサービスやXML関連技術の調査・研究等が加わり、2004年度にはSOA、2005年度にはWeb 2.0と対象は徐々に広がった。加えて、2002年度には標準化支援のための活動を取り込み、業界団体や外部組織を支援する形でTravelXMLや気象庁防災情報XMLフォーマットをはじめとする業界標準ボキャブラリーの策定に関与してきた。活動拠点も、東京を拠点とする多くの部会に加え、2006年度からは大阪を拠点とする関西部会を立ち上げ、その活動にも注力してきた。XML技術のエキスパート集団として評価の高い本会の活動は、年を追うごとにますます広く、より一層深くなってきている。しかし、XMLの真のメリットであるXMLデータの二次利用、三次利用を促進するためには、XMLを軸にした技術シーズの視点で捉えることには限界がある。今こそ、利用者の多様なニーズを視点の中心に置き、かつ、XMLの枠を超えたより広い範囲の技術視点から考察することが必要だと考えるに至った。よって、今後のエンタープライズ・システムのあり方を展望し、XMLの更なる利活用推進を促すテーマによる新しい活動拠点を2009年度末までに複数準備し、本会活動は2009年度末をもって発展的に終了するのが望ましいと考える。

## 2009年度の基本方針について

前述の新しい展開への発展を念頭に置き、本年度の基本方針を提案する。

1. 次の新しい展開を念頭に置き、昨年来、大目標としている本会活動の集大成たる成果物を完成させるため総力を挙げて取り組んでいく。
2. 前述したXMLの現状を踏まえ、また次の展開も視野に入れて、XMLデータの2次利用、3次利用を想定した実証実験等に取り組み、XMLの眞のメリットを広くアピールしていく。
3. 2009年度は成果物の会員限定公開を増強し、また非会員セミナーの参加については完全に有料化するなど、会員特典を強化し、本会会員であるメリットを一層享受いただけるようにする。
4. 2009年度末に発展的に活動を終了する場合にも、現会員間の人的交流や情報交換の場を保持し、可能な限り本会成果物を引き続き利用できるよう準備を整える。

## 2009年度の重点施策

本年度は本会活動の集大成と最新情報の発信を通して、XML利活用推進を後押しする。

また、長年、本会活動を支えてくださった会員各位への謝辞として、会員特典の強化に注力し、会員メリットを享受いただけるように努める。

### 1. 活動目標および活動内容

#### 1) 集大成となる活動の完遂

- a. 「XMLガイドブック(仮称)」の作成
  - 第1部 XML概観～XML Today & Tomorrow～
  - 第2部 開発者のためのXML技術情報
- b. 気象庁防災情報XMLフォーマットの公開、実運用、普及啓発への協力
  - 技術的支援の継続 (必要に応じて)
  - 普及啓発活動への協力 (実証実験を通して)

#### 2) 会員アンケートで要望の多い最新情報、旬の話題、最新動向等に関する情報発信

- a. セミナーを中心にタイムリーな情報提供を実施
- b. 勉強会の発足

#### 3) 会員特典(入会メリット)の強化

従来、評価されてきた既存の会員メリットに加え、2009年度は新たな会員特典を強化する。

- a. 新規特典(入会メリット)
  - ・ 新たな会員限定公開の資料を入手し、活用することができる
    - 本会活動の9年間の集大成となる「XMLガイドブック(仮称)」が入手できる。
    - 最新情報を満載した多数の部会活動の成果物(主としてXMLコンソーシアムDay/Week等の発表資料)、XMLコンソーシアム・セミナーの資料等が入手できる。
    - 本会が終了した場合、会員は一定期間、無料で「XMLガイドブック(仮称)」はじめ本会成果物、部会活動の成果物(主として発表資料)、セミナー資料等を入手し活用できる。
  - ・ セミナーへ人数制限なく無料で参加できる
    - 非会員は、今後本会が主催するすべてのセミナー(Day/Weekを含む)への参加料が有料となるが、会員は引き続き人数制限なく無料で参加できる。
  - ・ 新設部会、次期テーマの勉強会等への参加
    - 昨年度好評を博した「XML設計技術勉強会」を部会にし、定常的な活動を継続する。本コンソーシアムの高度なXML技術者から、スキルトランスファーを効率的に受けることができる。
    - 本会終了後の次期テーマを検討するにあたり、そのテーマに関連する最新の技術動向やビジネスに対する分析・検討・評価を行う勉強会等に参加することができ、いち早く情報を入手する機会が得られる。

#### 【既存の会員メリット】

- ・ スキル育成の場、若手育成の場として活用
  - セミナー、Day/Week等での発表経験を通じ、プレゼンテーション能力の向上が図れる。
  - コンソーシアムメンバーが切磋琢磨する場である各部会での活動を通してスキル育成、向上が図れる。
- ・ 業界、企業、組織を超えた人的交流
  - 企業の壁を超えて共同作業を行う部会活動を通じ、更にエバンジェリストや招聘ゲスト等との交流を通じ、多種多様な経験と知識を有する多くの仲間から助言を得たり、人的ネットワーク作りができる。
  - 会員専用のSNSを活用し、会員間で自由な情報交換ができる。

## 2. 成果物(予定)の公開について

前述の会員特典の強化に則し、本年度は成果物の会員限定公開を強化する。

### 1) 会員限定公開の成果物

#### a. 「XMLガイドブック(仮称)」

- ・XML利用ないしは検討するに際し、参照できる手軽で一覧性のある資料は、官民を問わず見当たらないのが実情であり、「XMLの普及度が見えない」、「利用事例が判らない」等の一因になっていることは否めない。この現状を打破するために、本会の活動成果をベースとして、XML利用の実態・事例・標準化・技術/ノウハウに関する情報を網羅することを目指す。
  - ・2部構成から成る「XMLガイドブック(仮称)」は2001年からの本会活動の集大成と位置付け、スキルの取得、伝播に寄与することを目指す。
  - ・当ガイドブックは、完成後の少なくとも半年間は一般公開をせず、XMLコンソーシアム会員のみが参照し得る成果物とする。
- [注]「XMLガイドブック(仮称)」の企画案については、補足情報を参照のこと。

#### b. 部会活動の成果物(主としてXMLコンソーシアムDay/Week等の発表資料)

XML技術およびその応用分野に関する最新技術レポートや部会の発表資料等は、会員特典として会員にのみ公開する。

2009年度部会活動成果物 予定一覧

セキュリティ部会	XML暗号化検証報告書
Webサービス実証部会	気象庁防災情報XMLを使った実証実験システムに関する資料全般 XMLデータ圧縮技術(バイナリXML)に関連する調査資料 Webサービスに関する高信頼性メッセージング技術 (WS-ReliableMessage)に関する調査資料 Androidなどモバイル端末へのPush配信技術に関する資料
XML設計技術部会	XML設計に関連する情報&ノウハウ集
SOA部会	SOA設計/開発および新技術適用のためのガイド
ビジネス・イノベーション研究部会	IT企業者のためのサービス分析ガイド
次世代Web活用部会	セマンティック・サービス利活用の提言 エンタープライズ・ソーシャル活用提言
XMLDB部会	XMLDB適用領域における典型アプリケーション・プロトタイピング とその設計文書の作成 「XMLガイドブック(仮称)」コンテンツ資料 例:XMLDBカテゴリと適性、XQueryとXQuery Update、 設計技法、GUI構築技法、適用アプリケーション、事例
クロスメディア・パブリッシング部会	拡大教科書へのXML技術適用の提言
関西部会	WebAPIを用いた実装へのチャレンジ報告 WebAPIの現状調査

#### c. XMLコンソーシアム・セミナー資料

- ・2008年末の会員アンケートでは、クラウドコンピューティング(XaaS、PaaS等)、セマンティックWeb、XMLDB、SOAをはじめ、組版技術、製造業におけるマニュアルや医療情報分野におけるR&D文書のXML化促進等に対して、会員の関心が見られた。この点を勘案しつつ、今後の動向を踏まえたセミナーを企画予定であり、その資料は会員のみ公開とする。
- ・「XMLガイドブック」の内容と連動したテーマで、セミナー開催を実施の予定であり、その資料は会員のみ公開とする。

#### d. 勉強会資料

本会終了後の次期テーマを検討するにあたり、そのテーマに関連する最新の技術動向やビジネスに対する分析・検討・評価を行う勉強会を開催の場合、資料は会員のみ公開とする。

### 2) 一般公開の成果物

#### a. 「気象庁防災情報XMLを使った実証実験報告書(仮称)」

- ・2008年春以来、気象庁防災情報XMLフォーマットの策定が円滑に進むよう主として技術的な支援を行い、5月15日にVer1.0が公開された。
- ・2010年度の実用化を目指す気象庁に対するご支援を継続し、2009年度は主として実証実験を通して、仕様の普及啓発に協力する。
- ・実証実験では、防災・気象情報の新しい利用シーンを想定し、モデリングから実装までの実現を目指す

プロトタイプ・デモ開発を行う計画である。

・成果物としての実証実験報告書は、広く一般公開し、気象庁防災情報XMLフォーマットの普及、ならびにXMLのメリットの訴求に役立てたい。

b. 「XML活用実態俯瞰図 第2版」

・2008年作成の第1版に続き、XML利用の実態調査を実施し、この結果を「現状俯瞰図」として可視化する取り組みを行う。

・これにより、「利用実態の見えにくさ」に起因する「XMLに対するユーザーサイドの理解不足や認識不足」の解消に寄与し、XMLの利用を推進したい。

**その他の施策**

**1. 外部組織・団体との協業**

1) アライアンス・パートナー

外部組織・団体との従来からの良好な協業関係を保持するとともに、本年度より新たに下記2団体とアライアンスを締結し、活動の連携を図る。

・ DITAコンソーシアムジャパン: DITA(文書のフォーマット)に関する協同研究を行う。

・ 日本Androidの会: 気象庁防災情報XMLフォーマットの公開に伴い、気象庁提供によるサンプルデータを用いた実証実験を協力して行う。

なお、Linux コンソーシアムの閉会に伴い、アライアンス・パートナー締結を解消する。

2009 年度アライアンス・パートナー

XBR LJapan
次世代電子商取引推進協議会
製造業XML推進協議会
社団法人 日本旅行業協会
特定非営利活動法人 UMLモデリング推進協議会
ものづくりAPS推進機能/PSLXフォーラム
XML技術者育成推進委員会
社団法人 日本印刷技術協会
DITAコンソーシアムジャパン
日本Androidの会

2) 下記の組織・団体とは、引き続き良好な協力関係を保持する。

気象庁防災情報XMLフォーマット技術支援 普及・啓発活動への協力	気象庁
知見、情報の提供	経済産業省 総務省
Webサービス実証実験	財団法人 日本道路交通情報センター
セキュリティに関する知見、情報の提供	製造情報連携フォーラム
マーケティング活動支援	WS-I J SIG OMG DOPG
情報交流・交換	W3C 慶応義塾大学SFC研究所 情報処理学会デジタルドキュメント研究会 ビジネスモデル学会

**2. 広報・告知の充実**

XMLはシステムのバックエンドで普通に利用される技術になっているにもかかわらず、システムのユーザーはXMLを使っていることを認識しておらず、XMLの普及がICT利用者実感されていない。ユーザーがバックエンドを意識せずにシステムを利用するのは自然ではあるが、ICT利用者には、XMLの普及状況、XMLであれば他システムと連携可能であることの認識が広まれば、システム提供側には考えられなかった連携がICT利用者から提起され、XMLの利活用を進展させていくと考えられる。この状況の下、普及啓発を活動目的の一つと掲げている本会は、XMLの利活用状況を広く広報・告知し、連携を始めとするXML利活用のメリットをアピールしていく必要があると考える。

- 1) 昨年に続き、第2版となる「XML利用実態現状俯瞰図」を作成し、これを一般公開し、XMLの利用実態に関する情報不足を補完する。
- 2) 新任5名を含むXMLコンソーシアム・エバンジェリスト(計24名)の協力を得て、講演や記事執筆をできるだけ増やし、その発信力で広報活動の強化を目指す。
- 3) 下記を継続実施し、広報・告知活動の充実を目指す。
  - a. メールマガジンの発行(月次)
  - b. メディア・パートナーによる外部への告知、広報の充実
  - c. アライアンス・パートナーや他組織・団体との協力による広報・告知活動の実施
  - d. 活動や成果のプレスリリース(随時)
  - e. 成果物の文書化、提言書の発行、書籍/記事の執筆/監修(随時)
  - f. 入会案内の配布(随時)

## 2009年度の体制

### 1. 会員制度・資格

現行通りとする。

### 2. 組織、体制、名称

現行通りとする。

### 3. 部会

- 1) 各部会は、XMLの利活用促進を目指す活動によりシフトし、活動展開を図る。  
(詳細:XMLコンソーシアム第9回総会議案書 付属資料「2009年度部会活動計画」)
- 2) 2008年度に充実した活動を実施した「XML設計技術勉強会」を部会化し、「XML設計技術部会」を発足する。
- 3) 「Web2.0部会」については、最近の活動にふさわしい部会名称として「次世代Web活用部会」に改名する。
- 4) 下記の部会については、標準仕様の更改予定が当面ないことから、引き続き、一時休眠とし、必要時に活動を再開することとする。
  - TravelXML標準化部会
  - ContactXML部会
  - コンテンツ利用情報標準化部会

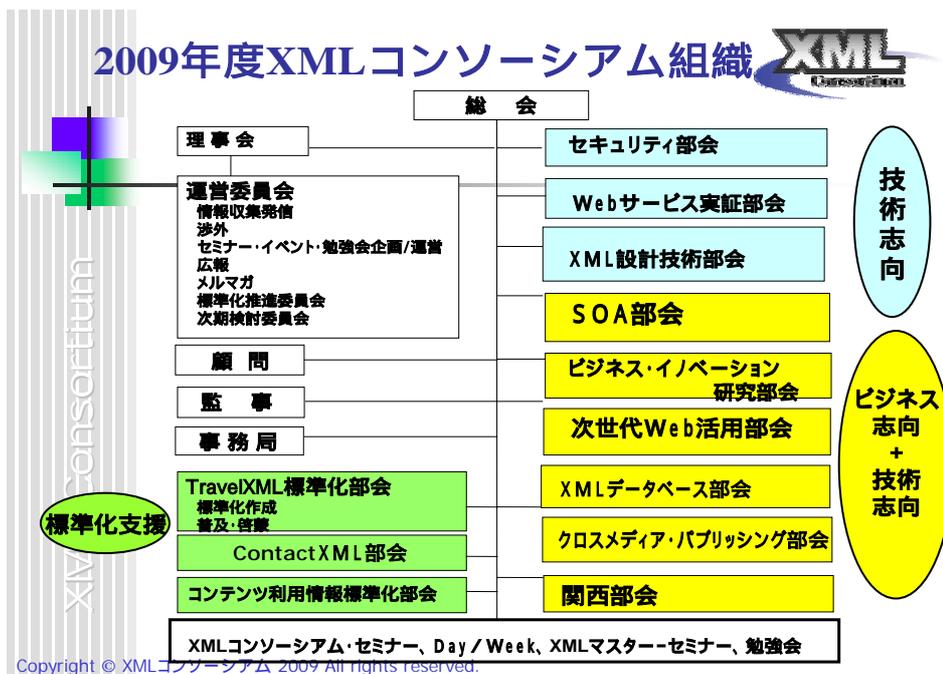
### 4. 勉強会

- 1) XML関連の旬のテーマについては、新規勉強会で取り上げ、会員企業と市場のニーズに迅速な対応を行う。
- 2) 次期活動内容の検討と連動させ、関連テーマについての最新の技術動向やビジネスに対する分析・検討・評価などを、適宜、新規勉強会で取り上げる。

### 5. 運営委員会

- 1) 次期検討委員会にて、2010年度以降の新しい形態について検討を継続する。
- 2) 検討結果については、理事会審議を経て、会員へ通知する。

## 2009年度XMLコンソーシアム組織



### III. 2009年度年間主要活動計画

#### 年次総会

2009年6月5日 第9回総会・理事会・懇親会  
 (2010年3月 第10回総会・理事会・懇親会)

#### 月次

運営委員会  
 部会リーダー・ミーティング  
 部会別月例ミーティング  
 XMLコンソーシアムメールマガジンの発行

#### 随時

理事会  
 運営委員会 各担当別ミーティング  
 次期検討委員会

プレスリリースおよびプレス取材対応  
 書籍や記事の執筆活動  
 他団体との交流会、情報交換会 等  
 ホームページ更新作業

#### 定期開催イベント・セミナー

部会成果発表会  
 2009年11月 第11回部会中間成果発表会 (XMLコンソーシアムDay)  
 2010年 3月 第9回部会成果発表会 (XMLコンソーシアムWeek)

#### 随時開催セミナー・イベント

会員アンケートで要望が多かったテーマや最新トピックの動向解説、会員が提供する製品やサービスを紹介するセミナーを行う。2009年度のXMLコンソーシアムの活動成果物として作成推進する「XMLガイドブック(仮称)」とタイアップした内容で、XMLの利活用の現状や先進技術の潮流、開発のための技術情報などをテーマに開催する。高い評価を得ている「XMLマスター試験対策セミナー」も引き続き行う。その他、アライアンス・パートナー、メディア・パートナーとの連携を図り、外部主催のイベントへの協力も従来通り行う。

## XMLコンソーシアムセミナー

XMLの最新動向解説や製品紹介、「XMLガイドブック(仮称)」に即した内容、XMLマスター取得に向けたテーマで、半日～1日のセミナーを開催する。

テーマ候補:

- ・XML最新動向解説、会員が提供するXML関連製品・サービスの紹介
  - クラウド、SaaS・XaaS、XMLDB、SOA など
- ・「XMLガイドブック(仮称)」に即した内容
  - XMLの技術背景と潮流、利用形態、将来展望 など
  - XML技術を利用したシステム開発に必要なノウハウや事例 など
- ・XMLマスター試験対策セミナー
  - ベーシック
  - プロフェッショナル(アプリケーション開発)
  - データベース

## 外部主催イベントへの協力

外部主催の催事に対しセミナー講師派遣など実質的な活動を行い、XML関連技術の普及活動を行う。外部主催のイベントへの協賛・後援・協力 などへの対応も随時行う。

注1:外部とは、会員会社、他団体およびイベント会社を指す。

注2:催事とは、展示会やセミナー、企業主催のプライベートイベントなどを指す。

## <参考> 2009年度の月別セミナー・イベント スケジュール計画案

- 5月・・・第8回XMLコンソーシアムWeek(部会活動成果発表会)
- 6月・・・第9回総会  
    関西Day
- 7月・・・XMLマスター試験対策セミナー(ベーシック)
- 9月・・・XML最新動向解説、XML関連製品・サービス紹介  
    もしくは「XMLガイドブック(仮称)」の内容に沿ったテーマ
- 10月・・・XMLマスター試験対策セミナー(アプリケーション開発)
- 11月・・・第11回XMLコンソーシアムDay(部会活動中間報告)
- 12月・・・「XMLガイドブック(仮称)」の内容に沿ったテーマ  
    もしくは XML最新動向解説、XML関連製品・サービス紹介
- 1月・・・XMLマスター試験対策セミナー(データベース)
- 3月・・・第9回XMLコンソーシアムWeek(部会活動成果発表会)  
    第10回総会

---

## 補足情報: 「XMLガイドブック(仮称)」企画案

### \* 第1部 XML概観～XML Today & Tomorrow～

コンセプト:コンソーシアム内外の識者の見識を集約し、様々な視点で顕在化する情報化イノベーションを捉えられる内容を目指す。

対象読者:経営課題解決の手段としてXML 技術がどのように有効に作用するかを考えている経営者、XML利用実態の現状を知りたいと考えている経営者、XMLの現状と今後の 動向を知り、IT 戦略を立案する立場の層を主対象とする。 加えて、これからXML を知りたいといういわゆる「XML 初心者」でも理解できるような内容を目指す。

### \* 第2部 開発者のためのXML技術情報

コンセプト:XML技術を利用したシステム開発者向けの実践的な手引きとなることを目指す。

読者が、システム開発に必要なXML 技術情報に迅速に到達できる構成を目指す。例えば、システムの種類ごとに必要とされるXML 技術に関するトピック記事という形態など。また、トピックでの説明が、不足する技術情報(用語解説など)については、コラムの形で補足する。

対象読者:XML に関する基礎的な知識(“XML とは何か”レベル)を有している開発者を主対象とする。

---

## 参照資料: 第9回総会議案書 付属資料「2009年度部会活動計画」

セキュリティ部会、Webサービス実証部会、SOA部会、ビジネス・イノベーション研究部会  
次世代Web活用部会(旧Web2.0部会)、クロスメディア・パブリッシング部会、  
関西部会、XMLデータベース部会、XML設計技術部会(新設)

## 第4号議案

2009年度予算計画承認の件

XMLコンソーシアム

## 1. 予算計画

	2008年度 予算	2008年度 実績	2009年度 予算案	備考
<b>収入の部</b>				
前期繰越金	4,357,942	4,357,942	1,265,906	
年会費	15,500,000	13,055,000	12,000,000	企業会員 10万円×120社
セミナー参加費	50,000	28,000	-	
雑収入		15,517	-	受取利息等
<b>収入の部合計</b>	<b>19,907,942</b>	<b>17,456,459</b>	<b>13,265,906</b>	
<b>支出の部</b>				
総会開催費	800,000	522,076	300,000	第9回、第10回の2回開催分。 会場は会員会社会場を使用。
セミナー開催費	600,000	17,329	-	会場は会員会社会場を使用。 講師招聘等、必要経費は執行にあたり 予備費より調整。
成果発表会開催費	1,000,000	336,719	-	会場は会員会社会場を使用。 講師招聘等、必要経費は執行にあたり 予備費より調整。
Web サイトリニューアル費	1,600,000	1,050,000	-	サイトリニューアル完了による未計上。
サーバー運用費	2,150,000	2,218,125	2,700,000	年間128万円×2年間×消費税、 サイト名登録料(2年)
部会・推進委員会支援金	500,000	-	-	12部会、標準化推進委員会
メルマガ制作費	840,000	840,000	840,000	7万円×12回
活動報告書制作費	200,000	165,375	-	セミナー、成果発表会資料のCD制作中止に よる未計上。
業務委託費	10,080,000	10,080,000	7,500,000	事務局業務委託費用:(84万円×3)+(42万円 ×11)+アンケート集計(2件)外注費(30万円)
通信費・車両運搬費	540,000	411,898	300,000	TEL/FAX、郵便、宅急便等の費用: 通常宅急便代5千円×12ヶ月 事務局電話・携帯代年間:14万円 セミナー赤帽代1万円×6回 総会資料送付代:2万円×2回 請求書送付代:2万円 Week 赤帽代:2万円 総会赤帽代2万円×2回
旅費交通費	120,000	61,420	60,000	事務局交通費(～6月)都内交通費+大阪出 張旅費
事務消耗品費	480,000	373,879	300,000	コピー費用、事務用品等:2.5万円×13ヶ月
雑費		113,732	60,000	振込手数料等:6万円
予備費	410,000	-	1,205,906	
次期繰越金	587,942	1,265,906	-	
<b>支出の部合計</b>	<b>19,907,942</b>	<b>17,456,459</b>	<b>13,265,906</b>	
<b>残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

### 【前提条件】

2009年度末をもって、本会活動を終了する。

### 【特記事項】

- 業務委託費は、次の条件を前提に算出。
  - ・4月～6月は、現行の金額(税込みの月額84万円)で計上
  - ・7月以降は、業務内容の軽減により税込み月額42万円で計上
  - ・アンケート集計(会員アンケート、XML利用実態俯瞰図)経費計上
  - ・2010年4月を、残務整理期間として計上
- 本会の活動終了後の1年も現在のサーバ、SNS環境を維持する前提で経費計上
- Xmlconsortium.org登録料(2年分)を計上

**第5号議案**

**2009年度 理事 / 監事選任の件**

**XMLコンソーシアム**

## 1. XML コンソーシアム役員構成

(敬称略 会社名ヨミ順)

(新任):今総会にて新任

(交代):昨年度総会以降および今総会での交代

### 【会長】

鶴保 征城 (ツルホ セイシロ)  
会社名: 独立行政法人 情報処理推進機構  
役職: 顧問

### 【副会長】

平野 洋一郎 (ヒラノ ヨウイチロウ)  
会社名: インフォテリア株式会社  
役職: 代表取締役社長

田原 春美 (タハラ ハルミ)  
会社名: 日本アイ・ピー・エム株式会社  
役職: ソフトウェア事業 エマージング・テクノロジープログラム担当 部長

### 【理事】

野口 好博 (ノグチ ヨシヒロ)  
会社名: アドソル日進株式会社  
役職: 上席執行役員 生産技術部長

下川 和男 (シモカワ カズオ)  
会社名: イースト株式会社  
役職: 代表取締役社長

平野 光徳 (ヒラノ ミツノリ)  
会社名: NTTコムウェア株式会社  
役職: 研究開発部 担当部長

柴垣 育 (シバガキ ヒトシ)  
会社名: NTTソフトウェア株式会社  
役職: 技術センター所長

山本 修一郎 (ヤマモト シュウイチロウ)  
会社名: 株式会社NTTデータ  
役職: 技術開発本部 システム科学研究所長

後藤 和彦 (ゴトウ カズヒコ)  
会社名: 株式会社大塚商会  
役職: マーケティング本部 テクニカルプロモーション部 執行役員

伊藤 敬 (イトウ タカシ) (交代)  
会社名: サン・マイクロシステムズ株式会社  
役職: マーケティング統括本部 統括本部長

浮川 初子 (ウキガワ ハツコ)  
会社名: 株式会社ジャストシステム  
役職: 代表取締役専務

天野 勝之 (アマノ カツユキ)  
会社名: 東京エレクトロン デバイス株式会社  
役職: 執行役員 CN事業本部 事業本部長

守安 隆 (モリヤス タカシ)  
会社名: 東芝ソリューション株式会社  
役職: IT技術研究所 参事

高島 洋典 (タカシマ ヨウスケ)  
会社名: 日本電気株式会社  
役職: サービスプラットフォーム研究所長

鈴木 俊宏 (スズキ トシヒロ)  
会社名: 日本オラクル株式会社  
役職: システム事業統括本部 スタンダードストラテジー & アーキテクチャー シニアディレクター

小川 豊 (オガワ ユタカ)  
会社名: 日本ユニシス株式会社  
役職: 執行役員 総合技術研究所長 兼 技術統括部長

寺田 嘉明 (テラダ ヨシアキ)  
会社名: PFUソフトウェア株式会社  
役職: 経営執行役

田中 哲雄 (タナカ テツオ) (交代)  
会社名: 株式会社日立システムアンドサービス  
役職: 研究開発センタ センタ長

吉野 松樹 (ヨシノ マツキ)  
会社名: 株式会社日立製作所  
役職: ソフトウェア事業部 企画本部 主管技師長

小野山 隆 (オノヤマ タカシ) (交代)  
会社名: 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社  
役職: 技術開発本部 研究部 部長

菅沼 嘉毅 (スガヌマ ヨシタケ)  
会社名: 富士ソフト株式会社  
役職: IT事業本部テクニカルC & C部 部長

弘末 清悟 (ヒロスエ セイゴ)  
会社名: 富士通株式会社  
役職: ソフトウェア計画本部 プリンシパルエキスパート

上野 守生 (ウエノ モリオ)  
会社名: 株式会社プロネクサス  
役職: 代表取締役社長

加治佐 俊一 (カジサ シュンイチ)  
会社名: マイクロソフト株式会社  
役職: 業務執行役員 最高技術責任者

飯沢 篤志 (イイザワ アツシ)  
会社名: 株式会社リコー  
役職: リコーソフトウェア株式会社 DAIS推進センター 所長

#### 【監事】

早瀬 雅之 (ハヤセ マサユキ)  
会社名: 株式会社ジャストシステム  
役職: 社長室 部長

水谷 学 (ミズタニ マナブ)  
会社名: ピー・シー・イー株式会社  
役職: 代表取締役社長

以上

## <参考>

(敬称略 会社名順)

### 〔運営委員会〕

アドソル日進株式会社	荒本 道隆
イースト株式会社	下川 和男
インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身
株式会社NTTデータ	遠城 秀和
株式会社大塚商会	都志 陽介
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二
東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美 (運営委員会議長)
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
PFUソフトウェア株式会社	松山 憲和
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫、田中 一義
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎、大場 みち子
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	久保田 仙
富士通株式会社	袴田 眞史

### 〔担当〕

#### 情報収集発信

アドソル日進株式会社	荒本 道隆
東芝ソリューション株式会社	舟城 亮一
株式会社日立システムアンドサービス	村垣 委久夫 (リーダー)、田中一義
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	久保田 仙

#### 渉外

東京エレクトロン デバイス株式会社	松永 豊
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美

#### セミナーイベント企画

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
NTTソフトウェア株式会社	妹尾 正身 (Week、Day)
株式会社ジャストシステム	澤崎 章二 (サブリーダー)
日本電気株式会社	島村 栄 (Week、Day)
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
株式会社日立製作所	坂川 浩二郎 (リーダー)

広報

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎 (リーダー)
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

メルマガ

日本電気株式会社	島村 栄
日本ユニシス株式会社	牧野 友紀
富士通株式会社	袴田 眞史 (リーダー)

標準化推進委員会

インフォテリア株式会社	平野 洋一郎
株式会社 NTT データ	遠城 秀和 (リーダー)
日本電気株式会社	島村 栄
日本アイ・ピー・エム株式会社	田原 春美
日本オラクル株式会社	鈴木 俊宏

【事務局】

富士ソフト株式会社	野田 博正(事務局長)
	赤池 奈奈

【部会リーダー】

SOA部会	日力 俊彦(日本アイ・ピー・エム株式会社)
ビジネス・イノベーション研究部会	牧野 友紀(日本ユニシス株式会社)
セキュリティ部会	松永 豊(東京エレクトロン デバイス株式会社)
Webサービス実証部会	松山 憲和(PFUソフトウェア株式会社)
次世代Web活用部会(旧Web2.0部会)	野村 直之(メタデータ株式会社)
クロスメディア・パブリッシング部会	田崎 勇二(株式会社ビー・ユー・ジー)
関西部会	芦田 尚人(株式会社プレイネットワークス)
XMLデータベース部会	加藤 哲義(株式会社ジャストシステム)
XML設計技術部会	遠城 秀和(株式会社NTTデータ)

【顧問】

萩野 達也 教授	慶應義塾大学 環境情報学部
吉川 正俊 教授	名古屋大学 情報連携基盤センター
松島 克守 教授	東京大学大学院 工学系研究科
丸山 不二夫教授	早稲田大学大学院 情報生産システム研究科

【エバンジェリスト】

	(敬称略、選任年順)
丸山 宏	日本アイ・ピー・エム株式会社
藤岡 慎弥	株式会社デジタルコミュニケーションズ
野村 直之	メタデータ株式会社
小林 茂	日本ユニシス株式会社
米持 幸寿	日本アイ・ピー・エム株式会社

牧野 友紀	日本ユニシス株式会社
鈴木 俊宏	日本オラクル株式会社
下川 和男	イースト株式会社
木庭袋 圭祐	富士通株式会社
大場 みち子	株式会社日立製作所
江島 健太郎	インフォテリア株式会社
岸上 信彦	日本電気株式会社
遠城 秀和	株式会社NTTデータ
倉沢 良明	キヤノン株式会社
天野 富夫	日本アイ・ピー・エム株式会社
鯨井 俊宏	株式会社日立製作所
松山 憲和	PFUソフトウェア株式会社
藤原 隆弘	イースト株式会社
芦田 尚人	株式会社ブレインワークス
(新任) 荒本 道隆	アドソル日進株式会社
(新任) 加藤 哲義	株式会社ジャストシステム
(新任) 日力 俊彦	日本アイ・ピー・エム株式会社
(新任) 松永 豊	東京エレクトロン デバイス株式会社
(新任) 宮崎 昭世	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

以上